

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC44)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年12月20日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ac 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 11.0	12/16	0	7.7	32.9	0	0	0	0	0	
		5	7.2	32.9	0	0	0	10	0	
		10	7.2	32.9	0	0	0	10	0	
		15	7.2	32.9	0	0	0	20	0	
厚岸 5.0	12/12	0	5.8	33.0	0	0	0	20	0	
		5	5.8	33.1	0	0	0	10	10	Di10
		10	6.1	33.1	0	0	0	50	30	Di30
		13	6.6	33.2	0	0	0	0	10	Dru10

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピールズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Ac = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピールズ (旧A. catenella アレキサンドリウム・カテネラ)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dtri = Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は標津ではデイノフィシス・アキュミナータ、
厚岸ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・ルジエイが
出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC43)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年12月9日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ac 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 15.3	11/18	0	13.4	33.7	0	0	0	0	0	
		10	13.4	33.7	0	0	0	0	0	
		20	13.4	33.8	0	0	0	0	0	
		30	13.5	33.8	0	0	0	0	0	
増毛 14.0	11/24	0	11.0	32.5	0	0	0	0	0	
		10	12.7	33.7	0	0	0	0	0	
		20	12.7	33.8	0	0	0	0	0	
		30	12.6	33.8	0	0	0	0	0	
サロマ湖 8.8	12/5	0	5.2	32.4	0	0	0	80	0	
		3	5.3	32.5	0	0	0	40	0	
		6	5.3	32.5	0	0	0	10	0	
		9	5.3	32.5	0	0	0	30	0	
		12	5.3	32.5	0	0	0	30	10	Di10
		15	5.3	32.5	0	0	0	20	0	
能取湖 8.5	12/2	0	5.5	32.1	0	0	0	170	0	
		10	5.7	32.3	0	0	0	130	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Ac = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ (旧A. catenella アレキサンドリウム・カテネラ)

Df = Dinophysis fortii ディノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata ディノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata ディノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula ディノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra ディノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica ディノフィシス・ノルウェンガ, Dru=Dinophysis rudgei ディノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata ディノフィシス・コウダータ, Dtri = Dinophysis tripos ディノフィシス・トリポス

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は江差、増毛では出現していません。

サロマ湖ではディノフィシス・アキュミナータ、ディノフィシス・インファンディブラ、
能取湖ではディノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC42)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年12月2日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ac 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 12.0	10/31	0	16.0	33.7	0	0	0	0	0	
		10	15.0	33.8	0	0	0	0	0	
		20	13.9	34.0	0	0	0	0	0	
		30	12.8	34.1	0	0	0	0	0	
浜益 6.0	11/8	0	12.3	31.3	0	0	0	0	0	
		10	14.2	33.3	0	0	0	0	0	
		20	14.6	33.7	0	0	0	20	0	
		30	14.5	33.8	0	0	0	0	0	
猿払 -	11/17	0	12.0	33.6	0	0	0	0	0	
		10	12.1	33.7	0	0	0	0	0	
		15	12.1	33.7	0	0	0	0	0	
		20	12.1	33.7	0	0	0	0	0	
標津 10.0	11/18	0	11.2	33.5	0	0	0	0	10	Di10
		5	11.2	33.5	0	0	0	30	10	Di10
		10	11.2	33.5	0	0	0	30	10	Di10
		15	11.2	33.5	0	0	0	10	10	Di10

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Ac = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ (旧A. catenella アレキサンドリウム・カテネラ)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェンガ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dtri = Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は江差、猿払では出現していません。

増毛ではデイノフィシス・アキュミナータ、

標津ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC41)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年11月11日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ac 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 16.0	10/25	0	16.0	33.4	0	0	0	0	0	
		10	16.5	33.6	0	0	0	0	0	
		20	16.9	33.8	0	0	0	0	0	
		30	16.9	33.8	0	0	0	0	0	
常呂 20.0	11/8	0	10.9	32.9	0	0	0	140	0	
		10	11.0	33.0	0	0	0	100	0	
		20	11.7	33.3	0	0	0	40	0	
		30	12.0	33.4	0	0	0	40	0	
サロマ湖 5.3	11/7	0	11.2	33.2	0	0	30	60	10	Di10
		3	11.2	33.2	0	0	30	10	50	Di50
		6	11.2	33.2	0	0	20	40	50	Di50
		9	11.2	33.3	0	0	30	10	20	Di20
		12	11.2	33.3	0	0	10	60	30	Di30
		15	11.2	33.3	0	0	20	30	20	Di20
厚岸 6.0	11/8	0	11.5	33.3	0	0	0	20	10	Di10
		5	11.5	33.3	0	0	0	40	40	Di40
		10	11.8	33.4	0	0	10	10	30	Di30
		13	11.8	33.4	0	0	0	10	10	Di10

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Ac = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ (旧A. catenella アレキサンドリウム・カテネラ)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェンガ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウタータ, Dtri = Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は増毛では出現していません。

常呂ではデイノフィシス・アキュミナータ、

サロマ湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラ、

厚岸ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラ

が出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC40)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年10月24日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Ac 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 11.5	9/28	0	21.8	33.4	0	0	0	0	0	
		10	21.5	33.7	0	0	0	0	0	
		20	20.5	33.7	0	0	0	0	0	
		30	18.4	34.1	0	0	0	0	10	Dro10
浜益 7.0	10/13	0	17.0	31.0	0	0	0	30	0	
		10	18.2	33.2	0	20	0	40	0	
		20	18.4	33.3	0	0	0	20	0	
		30	18.5	33.6	0	0	0	30	0	
能取湖 6.8	10/6	0	17.0	33.3	0	0	0	0	60	Dn10,Di50
		10	17.0	33.4	0	0	10	0	20	Di20
標津 8.0	10/18	0	15.8	33.6	0	0	0	0	20	Dro10,Di10
		5	15.9	33.6	0	0	0	0	0	
		10	15.9	33.6	0	0	0	0	0	
		15	15.7	33.6	0	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Ac = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ (旧A. catenella アレキサンドリウム・カテネラ)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dtri = Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

麻痺性原因種のAcが浜益にて出現しています。

下痢性原因種は江差ではデイノフィシス・ロツンダータ、
 浜益ではデイノフィシス・アキュミナータ、
 能取湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・ノルウェジカ、デイノフィシス・インファンティブラ、
 標津ではデイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・インファンティブラが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC39)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年10月14日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 -	10/4	0	17.0	33.6	0		0	0	0	
		10	17.6	33.7	0		0	0	10	Dro10
		15	17.3	33.7	0		0	0	0	
		20	17.2	33.7	0		0	0	10	Dro10
常呂 14.0	10/11	0	15.5	33.7	0		0	0	0	
		10	15.2	33.8	0		0	0	0	
		20	14.1	33.8	0		0	0	10	Dro10
		30	14.1	33.8	0		0	0	10	Dro10
サロマ湖 9.8	10/11	0	16.3	33.5	0		90	0	0	
		3	16.2	33.5	0		80	0	50	Di50
		6	16.2	33.5	0		10	0	70	Di70
		9	16.2	33.5	0		10	0	10	Di10
		12	16.2	33.5	0		0	0	0	
		15	16.2	33.5	0		0	0	0	
厚岸 2.5	10/6	0	16.0	32.2	0		10	0	0	
		5	16.5	32.7	0		0	0	0	
		10	16.0	33.5	0		0	0	0	
		13	16.0	33.5	0		0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピース コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dtri = Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は猿払、常呂ではデイノフィシス・ロツンダータ、
サロマ湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・インファンディブラ、
厚岸ではデイノフィシス・フォルティが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC38)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年9月30日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Aa 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 17.0	9/13	0	21.8	33.4	0		0	0	0	
		10	21.4	33.8	0		0	0	0	
		20	21.3	33.9	0		0	0	0	
		30	20.9	33.9	0		0	0	0	
能取湖 7.5	9/22	0	18.7	33.1	0		20	0	60	Dro10,Di50
		10	19.4	33.4	0		0	0	0	
標津 11.0	9/26	0	18.9	33.5	20		0	0	0	
		10	18.9	33.5	0		10	0	0	
		20	18.7	33.5	0		0	0	0	
		30	17.5	33.8	0		0	0	10	Dro10

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピートゥス コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dtri = Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

麻痺性原因種Atは標津で出現しています。増毛、能取湖では出現していません。

下痢性原因種は増毛では出現していません。

能取湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・インファンディブラが出現しています。

標津ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒フランクtonモニタリング速報(YC37)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年9月16日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Aa 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 6.0	9/8	0	22.3	32.0	0		0	0	0	
		10	21.8	33.6	0		0	0	0	
		20	20.9	33.8	0		0	0	10	Dn10
		30	19.8	33.9	0		0	0	0	
猿払 -	9/6	0	21.5	33.2	0		0	0	0	
		10	21.4	33.3	0		0	0	0	
		15	21.1	33.4	0		0	0	0	
		20	21.1	33.4	0		0	0	0	
常呂 13.0	9/9	0	21.3	33.7	0		0	0	0	
		10	21.3	33.7	0		0	10	0	
		20	20.7	33.7	0		0	10	0	
		30	20.5	33.8	0		0	0	0	
サロマ湖 9.1	9/13	0	21.5	33.6	0	130	10	10	20	Di20
		3	21.4	33.5	0	80	30	10	30	Di30
		6	21.3	33.4	0	4970	30	0	30	Di20,Dm10
		9	21.2	33.4	0	290	20	0	0	
		12	21.0	33.4	0	50	0	0	20	Dro20
		15	20.9	33.4	0	60	0	0	20	Dro20

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピース コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dtri = Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

麻痺性原因種Atは猿払・常呂・サロマ湖では出現していません。

下痢性原因種は浜益ではデイノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

猿払では出現していません。

常呂ではデイノフィシス・アキュミナータ、

サロマ湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラ
 デイノフィシス・ミトラ、デイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC36)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年9月8日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
江差 3.0	8/18	0	24.6	32.1	0	0	0	0		
		10	24.9	33.7	0	0	0	0		
		20	20.5	34.1	0	0	0	0		
		30	18.0	34.3	0	0	0	0		
能取湖 8.3	8/29	0	21.5	33.2	0	10	20	120	Dn30,Dro80,Di10	
		10	20.2	33.5	0	0	10	0		
厚岸 1.8	9/5	0	19.0	29.8	0	0	430	0		
		5	16.5	32.5	0	10	90	0		
		10	15.6	32.7	0	0	40	10	Dn10	
		13	15.1	32.8	0	0	0	0		

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピース コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウタータ, Dtri = Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

麻痺性原因種Atは江差・能取湖・厚岸では出現していません。

下痢性原因種は江差では出現していません。

能取湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、
デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・インファンディブラが出現しています。

厚岸ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC35)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年8月30日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
浜益 12.0	8/17	0	23.6	32.3	0		0	0	0	
		10	23.0	33.8	0		0	0	0	
		20	21.1	33.9	0		0	0	0	
		30	18.0	34.1	0		0	0	30	Dn20,Dro10
増毛 14.0	8/17	0	23.1	33.4	0		0	0	0	
		10	23.1	33.5	0		0	0	0	
		20	21.8	33.7	0		0	0	0	
		30	20.1	33.9	0		0	0	0	
猿払 -	8/18	0	20.3	33.7	0		0	0	0	
		10	19.8	33.7	0		0	0	0	
		15	19.8	33.7	0		0	0	0	
		20	19.8	33.7	0		0	0	0	
頓別 -	8/18	0	21.2	33.7	0		0	0	0	
		10	21.2	33.7	0		0	0	0	
		20	21.1	33.7	0		0	0	0	
		30	19.0	33.8	0		0	0	10	Dro10
紋別 3.0	8/18	0	20.5	31.6	0		0	0	0	
		15	20.4	33.6	0		0	0	40	Dn20,Dro20
		25	20.3	33.6	0		0	0	10	Dro10
		38.9	18.6	33.7	0		0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dtri = Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

麻痺性原因種Atは浜益・増毛・猿払・頓別・紋別では出現していません。

下痢性原因種は浜益ではデイノフィシス・ノルヴェジカ、デイノフィシス・ロツンダータ、
頓別ではデイノフィシス・ロツンダータ、
紋別ではデイノフィシス・ノルヴェジカ、デイノフィシス・ロツンダータが出現しています。
増毛、猿払では出現していません。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC34)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年8月23日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
サロマ湖 2.4	8/18	0	22.1	22.0	0		10	100	0	
		3	21.5	33.0	0		20	30	10	Dro10
		6	20.9	33.2	0		10	40	0	
		9	20.7	33.3	0		10	30	0	
		12	20.5	33.3	0		0	0	10	Dro10
		15	19.4	33.2	0		0	0	0	
厚岸 2.5	8/18	0	18.7	30.5	0		0	980	10	Dro10
		5	14.0	32.2	290		50	80	20	Dn20
		10	12.9	32.9	10		0	30	0	
		13	12.0	33.1	10		0	10	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ, Dtri = Dinophysis tripos デイノフィシス・トリポス

コメント

麻痺性原因種Atは厚岸で最大290細胞/Lが出現しています。

下痢性原因種はサロマ湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ロツンダータ
厚岸ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、
デイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報 (YC33)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年8月16日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 -	8/3	0	19.0	33.4	0		0	0	0	
		10	18.3	33.4	0		10	0	0	
		15	17.3	33.5	0		0	0	0	
		20	17.3	33.5	0		0	0	0	
常呂 17.0	8/10	0	20.6	33.4	0		0	0	0	
		10	19.5	33.8	0		0	0	20	Dm20
		20	19.2	33.8	0		0	0	0	
		30	18.8	33.8	0		0	0	0	
網走 10.0	8/5	0	17.6	33.8	0		0	20	0	
		10	17.1	33.8	0		10	0	0	
		20	16.2	33.9	0		10	0	10	Di10
		30	16.1	33.9	0		0	0	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェンガ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ, Dtri = *Dinophysis tripos* デイノフィシス・トリポス

コメント

麻痺性原因種Atは猿払、常呂、網走では出現していません。

下痢性原因種は猿払ではデイノフィシス・フォルティ

常呂ではデイノフィシス・ミトラ

網走ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラ

が出現しています。

(担当: 宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC32)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年8月9日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
江差 17.0	7/20	0	21.0	33.4	0		0	0	0	
		10	20.1	33.9	0		0	0	0	
		20	17.7	33.8	0		0	0	0	
		30	10.9	34.1	0		0	0	0	
厚岸 4.0	8/5	0	15.8	32.4	70		40	150	30	Dn10,Drot10,Di10
		5	15.5	32.5	3980		60	700	100	Dn70,Di20,Dtri10
		10	14.7	32.5	2980		130	450	210	Dn180,Drot10,Di10 ,Dtri10
		13	12.4	32.6	630		40	130	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウタータ, Dtri = *Dinophysis tripos* デイノフィシス・トリポス

コメント

麻痺性原因種Atは厚岸で最大3980細胞/Lが出現しました。

下痢性原因種は厚岸ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルウェジカ、
デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・インファンディブラ、デイノフィシス・トリポスが出現しています。

(担当: 宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC31)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年8月5日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
能取湖	7/26	0	20.3	28.0	0	0	10	0		
		6.8	10	16.2	33.5	0	30	60	0	
標津	8/4	0	16.6	32.5	0	0	20	20	Dru20	
		5.5	5	16.6	32.5	0	0	20	0	
			10	16.4	32.6	0	0	40	10	Di10
			15	15.1	33.1	0	0	30	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピース コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェンガ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウタータ

コメント

麻痺性原因種Atは能取湖、標津では出現していません。

下痢性原因種は能取湖ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、
標津では、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイ、デイノフィシス・インファンディブラ
が出現しています。

(担当: 宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報 (YC30)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年7月27日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df	Da	D属の他種		
浜益 10.0	7/14	0	21.5	32.7	0	0	0	0		
		10	20.2	33.5	0	0	0	0		
		20	17.8	33.9	0	0	0	0		
		30	15.7	34.0	0	0	0	0		
増毛 15.0	7/21	0	22.8	32.7	0	0	0	0		
		10	18.8	33.7	0	0	0	0		
		20	16.4	33.8	0	0	0	0		
		30	14.9	34.0	0	0	0	0		
猿払 -	7/19	0	15.9	33.6	0	0	0	0		
		10	14.8	33.6	0	0	0	0		
		20	14.1	33.6	0	0	0	0		
		30	12.9	33.7	0	0	0	0		
紋別 8.0	7/19	0	16.6	33.2	0	0	0	0		
		15	13.5	33.9	0	0	0	0		
		25	13.4	33.9	0	0	0	0		
		41.7	13.4	33.9	0	0	0	0		
能取湖	7/14	0	20.6	33.1	0	0	0	0		
		10	16.0	33.3	0	40	30	0		
厚岸 1.5	7/22	0	16.3	30.4	100	0	0	30	Dn10,Dro20	
		5	12.9	32.4	330	10	90	40	Dn30,Dro10	
		10	11.7	32.7	0	0	60	0		
		13	11.0	32.6	0	0	0	0		

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサントリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは浜益、増毛、猿払、紋別、能取湖では出現していません。
厚岸では、最大330細胞/Lが出現しています。

下痢性原因種は浜益、増毛、猿払、紋別では出現していません。

能取湖では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ

厚岸では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルベジカ

デイノフィシス・ロツンダータが出現しています。

(担当: 宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報 (YC29)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年7月22日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df	Da	D属の他種		
						細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	
頓別	7/12	0	16.2	33.9	0	0	0	0	0	
		10	14.4	33.9	0	0	0	0	0	
		20	14.3	33.9	0	0	0	0	0	
		30	13.5	33.9	0	0	0	0	0	
常呂 10.0	7/19	0	17.3	26.4	0	10	0	0	0	
		10	14.5	33.9	0	0	0	0	0	
		20	13.6	33.9	0	0	0	0	0	
		30	13.6	33.9	0	0	0	0	0	
サロマ湖 7.0	7/19	0	19.1	32.9	0	0	0	0	0	
		3	18.8	33.2	0	10	10	0	0	
		6	17.7	33.4	0	30	0	0	0	
		9	16.4	33.6	0	160	40	30	Di30	
		12	15.3	33.5	0	90	50	90	Di90	
		15	14.0	33.4	0	180	0	30	Di30	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサントリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェンカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは頓別、常呂、サロマ湖では出現していません。

下痢性原因種は頓別では出現していません。

常呂では、デイノフィシス・フォルティ、

サロマ湖では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラ

が出現しています。

(担当: 宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC28)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年7月14日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 4.0	7/7	0	22.4	29.4	0		0	0	0	
		10	17.9	33.7	0		0	0	0	
		20	15.8	33.9	0		0	0	0	
		30	15.2	34.0	0		0	0	0	
猿払 -	7/5	0	15.0	33.0	0		10	0	0	
		10	14.9	33.1	0		0	0	0	
		20	14.8	33.1	0		10	0	0	
		30	14.7	33.1	0		10	0	0	
網走 9.0	7/4	0	13.8	33.5	10		10	0	0	
		10	12.9	33.8	10		30	10	0	
		20	12.9	33.7	20		50	10	0	
		30	12.3	33.7	40		10	0	0	
標津 5.0	7/12	0	15.4	31.9	10		0	30	40	Dro30,Di10
		5	10.4	33.0	0		0	20	10	Di10
		10	9.7	33.1	30	Ao10	130	80	40	Dro20,Dru10,Di10
		15	9.6	33.1	40		520	190	40	Dro30,Dru10

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェンカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは増毛、猿払では出現していません。一方、網走、標津では出現しています。

下痢性原因種は猿払では、デイノフィシス・フォルティ、

網走では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、

標津では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ロツンダータ、

デイノフィシス・ルジエイ、デイノフィシス・インファンティブラが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC27)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年7月11日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 3.0	7/6	0	14.1	31.8	30	0	110	80	Dn50,Dro20,Di10
		5	11.8	32.3	1110	10	130	110	Dn80,Dro20,Dru10
		10	9.4	32.5	640	0	20	30	Dn30
		13	8.2	32.6	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは厚岸で最大1110細胞/Lが出現しています。

貝毒発生に注意が必要な50細胞/Lをはるかに超えていますので毒性値の推移にご注意ください。

下痢性原因種は厚岸では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルウェジカ、デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・ルジエイ、デイノフィシス・インファンディブラが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC26)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年7月8日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df	Da	D属の他種		
江差 11.0	6/21	0	16.0	33.7	0	0	0	0	0	
		10	14.8	33.8	0	0	0	0	0	
		20	13.5	33.8	0	0	0	0	0	
		30	11.9	33.9	0	0	0	0	0	
増毛 12.0	6/28	0	16.1	33.6	0	0	0	0	0	
		10	15.4	34.0	0	0	0	0	0	
		20	15.4	34.0	0	0	0	0	0	
		30	15.2	34.0	0	0	0	0	0	
常呂 8.0	7/5	0	14.7	33.5	0	0	0	0	0	
		10	13.3	33.7	0	10	0	0	0	
		20	13.1	33.7	0	20	0	0	0	
		30	13.0	33.8	0	30	0	0	0	
サロマ湖 9.0	7/5	0	17.0	32.6	0	0	0	0	0	
		3	16.9	32.7	0	10	0	10	10	Dro10
		6	14.3	33.3	0	50	10	10	10	Di10
		9	13.4	33.3	0	Aa20	40	0	20	Di20
		12	12.5	33.4	0	Aa60	670	30	0	
		15	11.2	33.4	0	Aa30	100	40	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは江差、増毛、常呂、サロマ湖では出現していません。

下痢性原因種はサロマ湖では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・インファンティブラが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC25)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年7月4日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
紋別 10.0	6/20	0	12.3	33.7	0		20	0	0	
		15	9.7	33.9	0		0	0	0	
		25	9.6	33.9	0		30	0	10	Di10
		40.2	9.3	34.0	0		20	0	0	
能取湖	6/27	0	16.1	32.9	0		0	20	10	Dn10
		10	12.0	33.2	0		310	10	70	Dn30,Dro20,Di20

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサントリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは紋別、能取湖では出現していません。

下痢性原因種は紋別では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・インファンディブラ、

能取湖では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、
 デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・インファンディブラ、

がそれぞれ出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC24)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年6月27日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
浜益 7.0	6/17	0	14.9	33.1	0	10	0	0		
		10	13.1	33.7	0	0	0	0		
		20	12.5	33.9	0	60	0	0		
		30	10.5	33.8	0	0	0	0		
猿払 -	6/17	0	11.2	33.5	0	0	0	0		
		10	9.9	33.5	0	40	20	0		
		20	9.7	33.5	0	30	10	10		Dr10
		30	9.6	33.5	0	80	10	0		
頓別 -	6/17	0	9.6	33.9	0	110	10	0		
		10	9.5	33.9	0	100	30	0		
		20	9.4	33.9	0	70	10	20		Dr10
		30	9.4	33.9	0	40	0	0		
厚岸 2.5	6/22	0	13.2	31.0	480	0	20	20		Dn20
		5	10.0	32.2	120	0	0	10		Dro10
		10	7.6	32.9	20	0	0	0		
		13	7.3	32.9	0	0	0	0		

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウヰジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは厚岸で最大480細胞/Lが出現しています。

貝毒発生に注意が必要な50細胞/Lをはるかに超えていますので、
毒性値の推移にご注意ください。

下痢性原因種は浜益では、デイノフィシス・フォルティ、

猿払では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイ、
頓別では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイ、
厚岸ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルウヰジカ、デイノフィシス・ロツンダータが
それぞれ出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC23)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年6月24日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
増毛 15.0	6/22	0	15.0	33.6	0		0	0	0	
		10	13.1	33.8	0		0	0	0	
		20	11.9	33.9	0		0	10	10	Dn10
		30	10.0	34.0	0		10	0	0	
常呂 9.0	6/20	0	8.3	33.0	1210		0	0	10	Dn10
		5	9.2	33.9	130		140	0	20	Dn10,ro10
		10	9.0	33.9	20		150	0	0	
		13	9.0	33.9	30		180	0	10	Dro10
サロマ湖 7.5	6/20	0	15.9	32.3	0		0	10	20	Dn10,Dro10
		3	12.6	33.0	0		10	20	50	Dn40,Dro10
		6	10.1	33.0	0		10	10	10	Dn10
		9	9.4	33.1	0		30	0	10	Dn10
		12	9.8	33.3	0		70	40	10	Di10
		15	9.8	33.4	0		130	20	30	Dn30

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピートーコンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)
 Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)
 Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ
 Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは常呂で最大1210細胞/Lが出現しています。
 貝毒発生に注意が必要な50細胞/Lをはるかに超えていますので、
 毒性値の推移にご注意ください。

下痢性原因種は増毛では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、
 常呂では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、デイノフィシス・ロツンダータ、
 サロマ湖では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルヴェジカ、
 デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・インファンディブラがそれぞれ出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC22)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年6月17日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L		Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 -	6/7	0	7.12	33.54	0		0	0	0	
		10	7.11	33.54	0		0	0	0	
		20	7.03	33.54	0		0	0	10	Dn10
		30	6.83	33.55	0		0	0	0	
能取湖 9.5	6/8	0	11.89	32.88	0		90	10	0	
		10	10.48	33.17	0		20	40	0	
厚岸 5.0	6/9	0	9.24	31.53	450		0	20	0	
		5	7.65	32.38	50		0	10	0	
		10	7.56	32.38	100		0	0	0	
		13	6.81	32.52	0		0	0	0	
標津 7.0	6/10	0	9.14	31.56	230		0	20	0	
		5	8.9	31.72	160		0	10	10	Dro10
		10	8.48	31.72	150		0	0	20	Dn20
		15	6.9	32.33	30		0	10	0	

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサントリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = *Alexandrium affine* アレキサントリウム・アフィネ (無毒種)

Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da = *Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di = *Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn = *Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru = *Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ

Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは厚岸で最大450細胞/L、標津で最大230細胞/Lが出現しています。

貝毒発生に注意が必要な50細胞/Lを超えていますので、毒性値の推移にご注意ください。

下痢性原因種は猿払では、デイノフィシス・ノルウェジカが出現しました。

厚岸では、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

標津では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルウェジカ、

標津では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC21)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年6月13日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
常呂 8.0	6/6	0	9.6	32.2	0	70	40	10	Dru10	
		10	9.4	33.7	10	60	20	0		
		20	9	33.7	0	50	30	0		
		30	8.8	33.7	0	40	0	0		
サロマ湖 7.0	6/6	0	10.8	32.8	0	20	0	0		
		3	10.8	32.9	0	20	20	0		
		6	10.7	33	0	40	0	0		
		9	10.6	33	0	10	0	0		
		12	10.6	33	0	10	0	0		
網走 10.0	6/6	0	8.77	33.77	0	30	0	0		
		10	8.36	33.8	0	0	10	0		
		15	8.33	33.79	0	10	0	0		
		20	8.27	33.78	0	0	0			

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェンカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは常呂で出現しています。

下痢性原因種は常呂では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータが出現しました。
網走では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC20)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年6月3日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
江差 8.0	4/25	0	10.38	33.62	0	0	0	0		
		10	8.9	34.06	0	0	10	0		
		20	8.73	34.1	0	0	0	0		
		30	8.15	34.1	0	0	0	0		
江差 12.0	5/23	0	13.4	31.92	0	0	0	0		
		10	12.96	34.1	0	0	0	0		
		20	12.19	34.11	0	0	0	0		
		30	10.87	34.15	0	0	0	0		
浜益 6.0	5/23	0	13.08	30.76	0	0	0	0		
		10	11.14	32.35	0	250	10	10	Dru10	
		20	9.56	33.74	0	40	0	0		
		30	9.13	33.85	0	0	0	0		
増毛 7.0	5/24	0	12.93	31.03	0	0	0	0		
		10	11.28	33.38	0	20	10	0		
		20	10.12	33.93	0	0	0	0		
		30	9.45	33.93	0	40	0	0		
能取湖 9.6	5/26	0	14.86	33.02	0	0	10	0		
		10	10.67	33.07	0	50	30	0		
厚岸 5.0	5/25	0	9.85	31.99	230	0	30	20	Dro10, Dru10	
		10	8.72	32.12	140	0	10	10	Dro10	
		15	6.13	32.49	30	0	0	20	Dro10,Dn10	
		20	5.14	32.54	0	0	0	0		

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは厚岸で100細胞/lを超える密度で出現しています。

下痢性原因種は江差では、4/25にデイノフィシス・アキュミナータが出現しましたが、5/23には出現していません。
 浜益ではデイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイが出現しています。
 増毛では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。
 能取湖では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。
 厚岸ではデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイ、デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・ノルヴェ
 が出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC19)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年5月27日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
頓別 -	5/17	0	8.5	33.6	0	20	80	10	Dru10
		10	8.47	33.6	0	0	30	10	Dro10
		20	8.45	33.6	0	30	40	0	
		30	8.44	33.6	0	10	30	10	Dru10
紋別 15.0	5/17	0	8.9	33.3	0	20	0	0	
		15	8.7	33.4	0	0	20	0	
		25	8.0	33.5	0	0	0	0	
		39.2	7.8	33.6	0	0	30	0	
猿払 -	5/19	0	9.82	32.81	0	20	20	0	
		10	9.01	33.08	0	0	10	0	
		15	8.91	33.14	0	0	10	0	
		20	8.88	33.14	0	30	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)
 Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)
 Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェンカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ
 Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウタータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は頓別では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイ、
 紋別では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。
 猿払では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC18)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年5月25日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考	
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
増毛 12.0	5/13	0	10.78	32.28	0	0	0	0	採水器故障による	
		10	9.28	33.35						
		20	9.21	33.77		欠測				
		30	9.07	33.89						
能取湖 6.7	5/17	0	11.89	32.91	0	0	0	0	Dru20	
		10	9.99	33.07	0	10	40	20		
サロマ湖 9.0	5/23	0	12.7	32.8	0	10	0	0	Dru10	
		3	12.6	32.8	0	0	10	10		
		6	12	32.9	0	0	0	0		
		9	10.4	33	0	Aa1	20	10		0
		12	9.5	33.1	0	0	0	0		0
	15	9.2	33.1	0	0	0	0			

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピース コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)
 Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)
 Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ
 Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は能取湖では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイが出現しています。

サロマ湖では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイが出現してい

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC17)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年5月20日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
猿払 -	5/10	0	7.92	33.13	0	20	30	20	Dro10,Dru10
		5	7.79	33.12	0	0	20	10	
		10	7.76	33.14	0	0	10	0	
		15	7.62	33.21	0	10	0	0	
網走 8.0	5/12	0	8.77	33.42	0	0	0	0	
		5	7.24	33.49	0	10	0	0	
		10	7.09	33.52	0	0	10	0	
		13	6.47	33.61	0	10	40	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)
 Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)
 Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェンガ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ
 Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は猿払では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ロツンダータ、デイノフィシス・網走では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC16)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年5月17日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
標津 6.0	5/12	0	5.87	31.81	10	0	10	10		Dru10
		5	2.2	32.02	20	0	20	60		Dn30, Dru30
		10	1.49	32.6	0	0	0	0		
		15	1.52	32.6	0	0	0	10		Dn10
厚岸 3.0	5/12	0	8.44	31.71	40	0	10	0		
		5	7.02	31.87	0	0	0	10		Dn10
		10	2.4	32.59	10	0	0	0		
		13	2.01	32.65	30	0	0	0		

At = *Alexandrium tamarense* species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピースーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)
 Aa = *Alexandrium affine* アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)
 Df = *Dinophysis fortii* デイノフィシス・フォルティ, Da=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro = *Dinophysis rotundata* デイノフィシス・ロツンダータ, Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm = *Dinophysis mitra* デイノフィシス・ミトラ, Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス・ルジエイ
 Dc = *Dinophysis caudata* デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは標津、厚岸に出現しています。

下痢性原因種は標津では、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイ、デイノフィシス・ノルウェジカが、
 厚岸では、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ノルウェジカが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC15)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年5月12日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
常呂 7.0	5/9	0	8	32.8	0	10	120	10	Dru10
		10	5.6	33.1	0	0	80	0	
		20	5.5	33.2	0	0	40	0	
		30	6	33.4	0	0	40	10	
サロマ湖 6	5/10	0	9.6	32.5	0	0	0	0	
		3	9.4	32.4	0	0	10	0	
		6	9.3	32.5	0	0	20	0	
		9	9.2	32.5	0	0	0	0	
		12	9.1	32.5	0	0	0	0	
		15	8.4	32.8	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピース コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)
 Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)
 Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ
 Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は常呂では、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイが、サロマ湖では、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC14)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年5月10日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
増毛 8.0	4/26	0	9.6	29.86	0	0	0	10	Di10	
		10	8.4	33.16	0	0	30	0		
		20	7.8	33.91	0	0	0	0		
		30	7.49	34.03	0	0	10	0		
猿払 -	4/26	0	6.88	31.68	0	0	0	0		
		10	6.77	33.05	0	0	0	0		
		15	6.76	33.07	0	0	10	0		
		20	6.68	33.14	0	0	10	0		
能取湖 8.0	4/27	0	8.58	32.44	0	0	0	0		
		10	7.67	32.67	0	0	20	0		
厚岸 4.0	4/26	0	6.83	31.57	20	0	0	0		
		5	3.82	32.4	0	0	0	0		
		10	2.38	32.51	0	0	0	0		
		13	2.18	32.54	0	0	0	0		

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)
 Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)
 Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウヰンガ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ
 Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウタータ

コメント

麻痺性原因種Atは厚岸で出現しています。

下痢性原因種は猿払・能取湖では、デイノフィシス・アキュミナータが、
 増毛では、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・インファンディブラが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC13)

(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)

2022年5月2日

中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
浜益 4.0	4/21	0	8.85	26.15	0	0	30	10		Dru10
		10	8.01	32.25	0	0	0	20		Dru20
		20	7.31	33.83	0	0	10	0		
		30	7.17	34.02	0	0	0	0		
サロマ湖 6.8	4/25	0	7.26	31.44	0	0	0	0		
		3	6.79	31.97	0	0	0	0		
		6	7.0	32.5	0	0	10	0		
		9	7.2	32.6	0	0	10	0		
		12	6.8	32.5	0	0	0	10		Dru10
15	4.1	32.6	0	0	0	0				
常呂 10.0	4/27	0	7.5	33.1	0	0	0	0		
		10	7	33.4	0	10	20	0		
		20	6.5	33.6	0	10	30	0		
		30	6.4	33.6	0	0	30	0		

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェンカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は浜益・サロマ湖では、デイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイが、
常呂では、デイノフィシス・フォルティ、デイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC12)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年4月28日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種			下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L			
紋別 (1.5)	4/15	0	5.7	33.5	0	0	0	0	0	0	
		15	5.2	33.7	0	0	0	0	0	0	
		25	5.1	33.7	0	0	0	0	0	0	
		34	5.1	33.7	0	0	0	0	30	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種はデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC11)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年4月26日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種			下痢性原因種			備考	
					At			Df	Da	D属の他種		
					細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L	細胞/L		
標津 (7.0)	4/21	0	3.1	31.2	0	0	0	0	0	0		
		10	3.1	31.5	0	0	0	0	10	10	Dru	
		20	-0.3	32.5	0	0	0	0	0	0		
		30	-0.3	32.6	0	0	0	0	0	0		

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種はデイノフィシス・アキュミナータ、デイノフィシス・ルジエイが出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC10)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年4月25日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種			下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L			
増毛 (6.0)	4/15	0	7.6	30.4	0	0	0	0	0	0	
		10	6.9	33.8	0	0	0	0	0	0	
		20	6.7	33.9	0	0	0	0	0	0	
		30	6.6	34.0	0	0	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピートコンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェンガ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種は出現していません。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報 (YC9)
(日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
2022年4月22日
中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種			下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L			
頓別	4/14	0	5.4	33.3	0	0	0	0	0	0	
-		10	5.6	33.6	0	0	0	0	0	0	
		20	5.6	33.6	0	0	0	0	10	0	
		30	5.6	33.6	0	0	0	0	10	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affine アレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種では頓別でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当: 宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC8)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年4月21日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種			下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L			
猿払	4/12	0	5.5	33.3	0	0	0	0	0	0	
-		10	5.5	33.3	0	0	0	0	10	0	
		20	5.5	33.3	0	0	0	0	20	0	
		30	5.5	33.3	0	0	0	0	30	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種では猿払でデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC7)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年4月19日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種			下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L			
網走 (7.0)	4/11	0	5.0	33.1	0	0	0	0	0	0	
		10	5.1	33.6	0	0	0	0	0	0	
		20	5.1	33.7	0	0	0	0	20	0	
		30	5.0	33.8	0	0	0	0	0	0	
厚岸 (0.6)	4/14	0	3.7	31.1	0	0	0	0	0	0	
		5	2.5	31.9	0	0	0	0	0	10	Dru
		10	1.5	32.3	0	0	0	0	0	0	
		13	1.5	32.3	0	0	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)
 Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ (無毒種)
 Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェンガ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ
 Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種では網走でデイノフィシス・アキュミナータが、厚岸でデイノフィシス・ルジエイが出現しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC6)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年4月15日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種			下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L			
能取湖 (3.8)	4/7	0	2.9	31.2	0	0	0	0	10	10	D.rudgei
		10	1.1	32.5	0	0	0	0	0	0	
常呂 (8.0)	4/11	0	4.8	29.8	0	0	0	0	0	0	
		10	4.9	33.4	0	0	0	0	10	0	
		20	5.1	33.7	0	0	0	0	10	0	
		30	5.1	33.7	0	0	0	0	0	0	
サロマ湖 (3.3)	4/11	0	4.3	29.9	0	0	0	0	0	0	
		3	4.0	30.7	0	0	0	0	0	0	
		6	2.9	32.5	0	0	0	0	0	0	
		9	2.2	32.6	0	0	0	0	0	0	
		12	2.7	32.8	0	0	0	0	0	0	
		15	2.7	32.8	0	0	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピーシーズ コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)
 Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)
 Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ
 Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェンカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ
 Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種では常呂でデイノフィシス・アキュミナータが、
 能取湖でデイノフィシス・アキュミナータおよびデイノフィシス・ルジエイが出現しています。

貝毒発生による出荷規制状況の一覧表は、末尾のシートに掲載しています。

(担当:宮園 章, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC5)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年3月29日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種			下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L			
標津 (14.0)	3/14	0	-0.8	31.7	0	0	0	0	0	0	
		5	-0.9	31.7	0	0	0	0	0	0	
		10	-0.9	31.7	0	0	0	0	0	0	
		15	-0.9	31.7	0	0	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピロシース コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種も出現していません。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC4)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年3月10日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (3.5)	3/4	0	1.3	27.5	0	0	0	0	
		5	0.0	31.9	0	0	0	0	
		10	-0.2	32.1	0	0	0	0	
		13	-0.2	32.1	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサンドリウム タマレンセ スピロシース コンプレックス (旧A. tamarense アレキサンドリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサンドリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンディブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルヴェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種も出現していません。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC3)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年2月25日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
標津 (9.0)	2/24	0	-1.3	31.2	0	0	20	0	
		5	-1.3	31.5	0	0	0	0	
		10	-1.3	31.6	0	0	10	10	Dru
		15	-1.3	31.6	0	0	0	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサントリウム タマレンセ スピロシース コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサントリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種ではデイノフィシス・アキュミナータおよびデイノフィシス・ルジエイが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC2)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年2月22日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種	下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
厚岸 (7.0)	2/14	0	-0.1	31.3	0	0	0	0	
		5	0.0	32.1	0	0	10	0	
		10	0.2	32.2	0	0	20	0	
		13	0.2	32.2	0	0	10	0	

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサントリウム タマレンセ スピロシース コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)

Aa = Alexandrium affineアレキサントリウム・アフィネ(無毒種)

Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ

Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ

Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種ではデイノフィシス・アキュミナータが出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)

貝毒プランクトンモニタリング速報(YC1)
 (日本海～オホーツク海～根室海峡～えりも以東太平洋)
 2022年1月28日
 中央水産試験場資源管理部

地点 (透明度m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種			備考
					At 細胞/L	Df 細胞/L	Da 細胞/L	D属の他種 細胞/L		
厚岸 (6.0)	1/24	0	0.1	32.4	0	0	40	0		Dro
		5	0.9	32.2	0	0	0	0		
		10	1.3	32.3	0	0	70	0		
		13	1.3	32.3	0	0	80	10		

At = Alexandrium tamarense species complex アレキサントリウム タマレンセ スピロシス コンプレックス (旧A. tamarense アレキサントリウム・タマレンセ)
 Aa = Alexandrium affineアレキサントリウム・アフィネ(無毒種)
 Df = Dinophysis fortii デイノフィシス・フォルティ, Da=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ
 Dro = Dinophysis rotundata デイノフィシス・ロツンダータ, Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス・インファンティブラ
 Dm = Dinophysis mitra デイノフィシス・ミトラ, Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス・ノルウェジカ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス・ルジエイ
 Dc = Dinophysis caudata デイノフィシス・コウダータ

コメント

麻痺性原因種Atは出現していません。

下痢性原因種ではデイノフィシス・アキュミナータが最大で80細胞/L出現しています。

(担当:海洋環境グループ 栗林貴範, 有馬大地)